

豊中市の子育ち・子育て支援施策に関する小・中学生、高校生へのヒアリングの概要

1. 目的

豊中市子ども健やか育み条例第12条（子どもの社会参加の促進）に基づき実施。

第2期豊中市子育ち・子育て支援行動計画「こどもすこやか育みプラン・とよなか」の進行管理の一環として実施し、市が実施する施策について表明された子どもの意見を施策に反映するよう努め、子どもの社会参加の促進を図る。

2. 実施期間

令和6年(2024年)11月22日から令和7年(2025年)1月10日まで

3. 実施方法

学校を訪問し、こども政策課職員が事業実施状況の概要を説明し、同課のほか、くらし支援課・読書振興課職員がヒアリングを実施。

4. 訪問校及び参加人数

訪問校		参加人数
小学校放課後 こどもクラブ	小曾根小学校	30
	桜井谷小学校	50
	少路小学校	39
中学校	第三中学校	5
	第十三中学校	5
	第十六中学校	6
高校	桜塚高等学校	4
	千里青雲高等学校	10
	豊島高等学校	6
	刀根山高等学校	8
	豊中高等学校	7
合計		170

5. 主な意見

●中学生・高校生むけのアンケート

質問 1.【重点施策 1】ひろめよう、それぞれの居場所～子どもの居場所づくり～

- (1) 豊中市が取組みを進めている子どもの居場所は、大人や大学生などの見守る存在がいる居場所を想定しています。家族や学校の先生以外と関わる機会が少なくなっているなか、様々な大人と関わることで、多くの価値観に触れたり、新たな体験のきっかけになったり、家や学校以外の安心・安全な場を得たりすることができます。

家や学校以外に、どのような居場所があれば、過ごしやすいですか。また、普段どのような場所に遊びに行きますか。

【中学生】

(家や学校以外の過ごしやすいと思う居場所)

- ・図書館などの静かな場所
- ・児童館のような場所

(普段遊びに行く場所)

- ・公園で走るなど、体を動かす
- ・小学校の時から月 1 回子ども食堂に行っていて、色々な人と関われるのが良い
- ・友達と一緒にカフェに行ってしゃべったりしている時間が楽しい

【高校生】

(家や学校以外の過ごしやすいと思う居場所)

- ・学校外に友達が作れるところ。小学校に友達がいないくて学校に行きたくなくても、学校外に友達がいることが心の支えになった
- ・空調の効いたふらっと入れる場所。何も用事がなくても入れることがポイント
- ・無料で使えて、友だちとおしゃべりできる場所

(普段遊びに行く場所)

- ・カフェ、ファストフード店などの飲食店
- ・カラオケ
- ・公園などスポーツができる場所

- (2) 学校以外でのどのような体験活動について、どのようなものであれば参加してみたいと思いますか？

【中学生】

- ・興味や趣味の合う人たちが集まれるようなもの
- ・職業体験
- ・平日は塾や部活動があるので、被らない時間が良い

【高校生】

- ・ 高校生の内から乳幼児に触れる機会があったらよいと思う。若い世代が少子化に興味を持っていないのは、乳幼児に触れていないからではないか
- ・ おみやげを持って帰ることができる
- ・ スポーツ体験ができるもの

(3) 普段どのように自分にとって気になる情報を入手していますか？

【中学生】

- ・ SNS（Instagram・YouTube）
- ・ インターネット（Google）
- ・ 学校で配布されるチラシや掲示板

【高校生】

- ・ SNS（X・Instagram）
- ・ インターネット（Google・Yahoo・LINE ニュース）
- ・ 信憑性の確認のため、情報は複数の情報機関の発信をチェックしている

質問2 子育て支援

- (1) 豊中市では、子どもの人権を大切にしながら、子どもが周りの人から愛され、自分らしく健やかに育つことのできるまちをめざして、「豊中市子ども健やか育み条例」を策定しています。「子どもの人権」には、①みんなが安心して生活できる「生きる権利」、②虐待やいじめから体も心も「守られる権利」、③自分の個性や能力を伸ばす「育つ権利」、④大人だけで決めるのではなく、子ども本人の意見を言える「参加する権利」の4つの権利があります。子ども健やか育み条例で大切にしているこの4つの権利について、子ども自身に知ってもらうことができるよう、子ども版リーフレットを作成して毎年度小学校4年生に配布するとともに、学校への出前講座を実施し、周知啓発に努めています。

リーフレットは実際に子どもたちからの意見を聞きながら作成しているものですが、様々な声がかかれていますが、その中の1つに「大人には子どもの権利を大切にしてほしいけれど、子どもはそれをらん用してはいけないと思うな」という表現がありますが、どのように感じますか。

【中学生】

（どのように感じるか）

- ・ 表現が難しくよく分からない
- ・ 相手も大切だが、「自分を守る」ことも大切。“らん用”するわけではなく、大人に適切に助けを求めることが重要
- ・ 権利の主張は大事だけれども、大人は自分のために言ってくれることは、自身が成長するためには必要

(どのような表現がよいと思うか)

- ・「自分だけじゃなく」と付けるといいと思う
- ・自分の意見（権利の主張）と周りの意見が対立した場合、それぞれを尊重し、納得するまで対話する
- ・自分がされていやなことはしない。周りがいやな思いをすることがわかっていながら、権利の主張をしない

【高校生】

(どのように感じるか)

- ・子どもは守られているが、なんでも許されるわけではない
- ・小学生の間は大人の言うことを聞いた方がよいと思う。自分の意見を尊重できるようになるのは中学生くらいになってからではないか
- ・小4には「らん用」の度合いがわからないのではないか

(どのような表現がよいと思うか)

- ・大人が子どもに話しかけている（教えている）イラストを入れてみてはどうか
- ・なぜ、「らん用」してはいけないのかがあとでわかりやすい。
- ・表現が難しいのでよく分からない

(2) 令和4年4月から成年年齢が18歳に引き下げられたことを知っていますか？そのことについて、よいと感じること、不安に感じることはありますか？

【中学生】

- ・大人として自分で決めたりできることはいいことだと思う
- ・何が18歳から可能で、何は20歳からでなければダメなのかがややこしい
- ・選挙について、自分の1票が社会を変えるかもしれないと考えたと責任を感じるし、まだその責任を果たす自信がない

【高校生】

- ・どういう責任を負うのかなどを学ぶ機会が少ない
- ・クレジットカードが利用できるのは怖いと思う。家庭科の授業でリボ払いが最初から設定されていることがあると聞いたことがある。
- ・実感がないから不安もない

【中高生共通】

- ・なぜ引き下げられたのか理由がわからない

- (3) 消費者トラブルにあった(あいそうになった、インターネットで見かけたなど)経験はありますか。
また、そのようなトラブルにあった時に相談できる場所があることを知っていますか。

【中学生】

- ・特にない

【高校生】

- ・海外から電話や悪質なメール（懸賞の当選、有名な銀行の名前からのもの）
- ・中学の時にゲームアカウントの詐欺をされ、お金を取られた
- ・明らかに時給が高いバイト募集は闇バイトかもしれないと怪しく思う

質問3 安心・安全なまちづくり

- (1) 日常生活で交通事故に遭わない・起こさないために気を付けていることはありますか。また、家族のひとと交通安全について話をしたり教えてもらうことはありますか。

【中学生】

(日常生活で気を付けていること)

- ・「後ろから自転車来ているよ」など、気づいた人が声かけをしている
- ・小学生の時の交通安全教室で警察に言われたことが頭に残っているので実践している
- ・対向から自転車が来た時に相手が避けてくれると思わないようにしている

(家族のひとと話すこと、教えてもらうこと)

- ・父が車を運転している時に、イヤホンをしたまま自転車に乗っている人とぶつかりそうになったという話を聞いたので、見通しの悪いカーブ（カーブミラーのない箇所など）は、気を付けている
- ・妹が交通安全教室を受けたので、自転車のヘルメットの話をした
- ・交通事故のことがニュースで流れたりすると、親と交通安全について話すことがある

【高校生】

(日常生活で気を付けていること)

- ・車が少ない時間帯に自転車でスピードを出しすぎて、ぶつかりそうになったため、車が少ないからといって、スピードを出しすぎないようにしている
- ・ながらスマホをしない
- ・ヘルメットはかぶっていない。自転車通学の生徒はほとんどヘルメットをかぶっていない

(家族のひとと話すこと、教えてもらうこと)

- ・自転車に乗るときにイヤホンをつけていると罰金をとられると親から聞いた

(2) どのような時に移動に公共交通機関（電車・バスなど）を使いますか。また、どのようにしたら公共交通機関が使いやすくなると思いますか。

【中学生】

- ・習い事など、どこに行くのも電車を使うことが多い
- ・自転車での移動が多い
- ・車内で人のにおいが気になることがある
- ・傘の持ち方がよくないなど、車内でのマナーが悪い

【高校生】

- ・遠くに行くときは、電車やバスを使う
- ・通学に電車を利用している
- ・梅田まで遊びに行くときに電車に乗る

質問4 全般について

(1) 豊中市のよいところ、悪いところ（不便だと思うところ）は何だと思いますか。また、どんなまちであってほしいと思いますか。

【中学生】

（よいところ）

- ・公園が多く、自然が豊か
- ・公共交通機関が多く、交通の便がよい
- ・近くにお店がたくさんあるので、買いたいものがすぐ買える

（悪いところ）

- ・歩道や自転車通路などの道が狭い
- ・公園はあるが、ボール遊びができない
- ・街中に時計を増やしてほしい(バス停があると便利)

【高校生】

（よいところ・便利なところ）

- ・ベッドタウンとしての機能がある（梅田や空港に近いなど交通の便がいい）
- ・なんでもそろっているイメージがある
- ・小学校の7時開門をニュースで知ったが、これからは共働きの時代なので必要だと思った

（悪いところ・不便なところ）

- ・豊中駅はバス停が多くてどれに乗ればいいのか分からず困る
- ・遊ぶところが欲しい
- ・南北の移動は便利だが、東西の移動が不便

- (2) 今回のヒアリングは、豊中市子ども健やか育み条例第 12 条「子どもの社会参加の促進」に基づいて実施するもので、市が実施する施策について表明された子どもの意見を施策に反映するよう努め、子どもの社会参加の促進を図ることを目的としています。

豊中市では、今後も子どもの社会参加の取組みの輪を広げていきたいと考えており、その 1 つとして子ども自身からテーマを提示してもらい、そのテーマについて話を聞く「出張ヒアリング」の実施を予定しています。皆さんであれば、どのようなことを話してみたいと思いますか。

【中学生】

- ・特にない

【高校生】

- ・参加型のイベントについて、意見を言ったり、企画をしたりしたい
- ・特に思いつかない

- (3) 子ども施策全般について、今日の説明やヒアリングを受けての感想も含めて教えてください。

【中学生】

- ・日頃思っていることが言えてよかった
- ・豊中市は様々な施策をやっていることが分かったが、知らなかったので認知度が低いと思った
- ・子どもの権利のことなど、豊中市は子どもを大切にしていると感じた
- ・子ども食堂の場所は知っているが行ったことはない。子ども食堂に行ってもいいのか、というハードルがある

【高校生】

- ・支援体制を充実させたり、土日を活用した支援をしていたりと、困っている人が話すことができる支援があることで、心の余裕を持てる人が増えるからよいことだと思った
- ・アンケートよりも口頭で意見を言える方が詳しいことを話せて、会話のキャッチボールができるので、ヒアリングの実施はよいと思う
- ・豊中市に住んでいて、色々と考えてきたつもりだったが、ヒアリングをうけて、豊中市の取り組みを知る中で、豊中市にはもっとよくなることもあるんだろうなと思った

●小学生むけのアンケート

質問1 大人の人に聴いてもらいたいことはどれですか。(複数回答可)

- ・買ってほしいもの 89人 (ゲームなどのおもちゃ、スマホ、文房具 など)
- ・したいこと 84人 (好きなことをする、一日中のんびり、スポーツ など)
- ・学校でのできごと 74人 (宿題が早くできた、遊び、テスト など)
- ・したくないこと 69人 (きらいな野菜を食べる、勉強、ケンカ など)
- ・友達とのこと 60人 (遊び、うれしくなったこと、楽しい話 など)
- ・家でのできごと 48人 (ごはんの話、勉強の話、遊んだ話 など)
- ・その他 32人

(お父さんにほめてほしい、呼んでいるのに返事をしてくれない、自分のお金で何か買いたい、
○○して～、○○しといて～が嫌だ! など)

質問2 それはだれにお話しますか。(複数回答可)

- ・おうちの人 97人
- ・おじいちゃん・おばあちゃん 30人
- ・担任の先生 28人
- ・放課後こどもクラブの先生 17人
- ・ならいごとの先生 8人
- ・その他 25人 (おばちゃん、近所の人、ともだち、いところ など)

質問3 質問2で選んだ人に自分のお話を聴いてもらおうと、どんな気持ちになりますか。(複数回答可)

- ・うれしくなる 56人
- ・すっきりする 56人
- ・ほっとする 49人
- ・元気がでる 42人
- ・自信がもてる 33人
- ・話しても聴いてくれない 8人
- ・その他 17人 (ハッピー、わくわく、がんばるぞ、わからない など)